

特集

平成28年度 主な施策と予算

中山町では、新しい年度が始まる前に1年でどのくらいの収入があるのか、1年間でどのような事業を実施すべきか、そしてその事業にはどのくらいのお金が必要なのかを見積もります。これを「予算」といいます。

では、誰が予算を決めるのでしょうか。

予算は、はじめに町のそれぞれの課が町民の皆さんのご意見やご要望を聞き、1年間でどのような事業を行うかを検討して予算案をつくり、町長に提出します。それを受け取った町長は、各課から出された案を町の方針に沿ってまとめ、町議会に提案します。次に、町民の皆さんの代表である町議会議員が提案された予算案の内容について審議を行います。町議会議員は、これについての質問や意見交換を行い、議会の議決をもって予算が決まります。つまり、町と議会が話し合って予算を決めるのです。

では、平成28年度、中山町の予算はどのくらいで、予算をもとにどのような町づくりに取り組むのでしょうか。7ページから9ページで紹介していきます。(紙面の都合上、一部抜粋して掲載しています)

施策

(抜粋)

安心して子どもを産み育てられる環境づくり

子育て支援関係では、「第3子に対する保育料の無料化」、「小児おたふくかぜ・小児インフルエンザ予防接種費用助成事業」などが新たに実施されます。

第3子に対する保育料の無料化では、平成28年度は当初予算で約40世帯を見込んでいます。また、予防接種費用助成事業では、小児おたふくかぜでは3000円、小児インフルエンザでは1500円をそれぞれ1回まで定額助成します。

また、特定不妊治療に対する町助成額を従来の10万円から30万円に拡大するほか、妊婦健康診査における超音波検査費用を4回追加するなど、妊娠から子育てまでを総合的に支援します。

平成28年度施策の

6つの柱

1. 安心できる健康・福祉・子育て応援のまちづくり

地域福祉の充実に継続して取り組みます。また、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めるとともに、高齢者が健康で自立した生活ができるよう、高齢者支援の充実に取り組みます。

2. 安心して自然にやさしい快適な生活環境づくり

ライフラインである上下水道について、計画的な更新や長寿命化などの維持管理を継続して行います。また、消防力の機能強化や防災対策の充実に努め、安全・安心なまちづくりの実現に努めます。

3. 定住と交流を生み出す生活基盤づくり

自然と調和したまちづくりを図るため、総合的な土地の有効活用に取り組むとともに、町営住宅の整備や住宅用地の確保を図り、定住人口の増加に努めます。

4. 豊かで活力に満ちた産業づくり

新規就農者や認定農業者の確保・育成に努めるとともに、主要農産物の生産振興や6次産業化を推進し、地域農業の振興に取り組みます。また、工業団地における企業立地の促進に努めます。

5. 人が輝く教育・文化・スポーツのまちづくり

学校教育の重点目標を推進し、学校教育の充実に取り組みます。また、生涯学習社会の形成に取り組むほか、伝統文化や文化財の保存・継承・活用に努めます。

6. みんなで進める協働のまちづくり

町民や自治組織および各種団体と行政が対等な関係で構築する住民参加型のまちづくりを推進します。また、地域コミュニティを再生する取り組みを実施し、住民主体の地域づくりを支援します。

安全・安心な町づくり

消防団活動の機能強化を図るため、三軒屋・落合地区にコミュニティ防災センターを建設します。また、山形市への消防事務委託事業を継続し、万が一の事態に備えます。

学習環境の充実

中山中学校建設事業では、旧校舎の解体工事のほかグラウンド整備や外構工事を実施します。長崎小学校では、空調設備を改修し、学習しやすい環境を整備します。また、長崎・豊田小学校では、校舎の老朽化に伴う改修工事を引き続き行います。

プレミアム商品券の発行

昨年好評であった町商工会のプレミアム付き商品券について、今年も7000万円分を発行し、町内の商店の振興を図ります。

ポロシャツで「芋煮会発祥の地」をPR

中山町の秋の恒例イベント「元祖芋煮会in中山」のPR用ポロシャツをリニューアルし、職員および協力企業等で着用します。

また、県外に向けて積極的に宣伝し、中山町を訪れる交流人口の拡大を図ります。

ふるさと寄附金増額の取り組み

ふるさと納税制度にて寄附をいただいた方への返礼品の種類を、これまでの約3倍に増やしました。ひまわり温泉ゆ・らのペア宿泊券や町内産果物の詰め合わせなど、中山町の特色を反映した返礼品を充実させ、他市町村との差別化を図ります。

また、寄附の手続きを簡素化するため、ふるさと納税総合サイト経由での申し込みとクレジットカードを利用したオンライン決済を可能にしたほか、回数制限をなくし寄附の都度、返礼品を贈呈するなど、寄附額の増額につなげます。

まちづくりはみんなが**主役**です！

平成28年度は、これまで以上に良い中山町をつくっていただけるよう、政策推進課の新設など組織改革も行いました。平成28年度の予算・施策方針に基づき、町民の皆さまが「住んで良かった」と実感できるまちづくりの実現に向け、私が先頭となり、全職員を挙げて努力してまいります。

そのためには、行政任せではなく、町民の皆さまにも主体性を持って積極的にまちづくりや地域活動に取り組んでいただくことが重要であると考えます。共に話し合い、中山町を私たちの手でより良い町にしていきましょう！

中山町長 佐藤 俊晴

